

（仮称）豊田地域審議会意見書（案）

〔はじめに〕

平成 17 年 4 月に新中野市が誕生し、10 年が経過しようとしております。その間、目まぐるしく変化する社会、経済情勢の中、複雑多様化する行政需要に堅実に対処しながら、新市の一体感の醸成に努め、市民生活の安定・向上に向けて、尽力していることに敬意を表します。

豊田地域審議会におきましても、市長からの諮問に対する答申や、合併後の地域住民の不安の解消と豊田地域の振興、そして中野市全体の発展のために協議し意見を述べてまいりました。

合併 10 年をむかえるに当たり、今後とも、豊田地域、中野地域にかかわらず、中野市が一体的に発展していくことを願い、意見を申し上げます。

〔総 論〕

国文学者である高野辰之が作詞した唱歌“故郷”に歌われている里山の原風景は、本市が誇る恵まれた自然環境であり、ここに住む人たちは、この四季折々に美しい景色を醸し出す豊かな自然を大切に育んできました。

そして、この恵まれた自然のもと、りんごや桃、ぶどうなどの農業を基幹産業とし、また農産加工品等を開発、販売し発展してきました。

しかしながら、本地域においても全国的な動向と同じく、少子高齢化が進展し、農業の後継者不足や小中学校の再編、地域防災体制の整備など、市民生活に影響を及ぼす問題が生じております。また、恵まれた自然環境であると同時に、水害等の自然災害への不安がぬぐえない状況であります。

これらの現状を踏まえて、豊田地域の振興と中野市全体の発展を考えると、この恵まれた自然環境を保全し、農業と地場産物を育成して観光施策と連携することで地域経済の振興を図ること、そして、道路、交通機関を整備し、かつ災害に対する防災体制の一層の整備を推進することで、安全に安心して暮らせるまちづくりを進めることが必要であると考えます。

また同時に、本市の未来を見据えた場合、少子高齢化問題に対して人口定住施策を推進するとともに、子どもたちの成長と教育へ十分配慮することも重要であります。

豊田地域、中野地域それぞれが長所を活かした特色あるまちづくりを推進し、生まれ育った地域への愛着とそこに住む人たちとの絆を大切にし、安心して暮らせる住み良い地域づくりを進められるよう願うものであります。

○地場産業の育成と観光振興

◆ 現状・課題

- ・豊かな自然に恵まれた本市は、果樹栽培など農業を基幹産業として発展してきました。また、農産加工品を地場産品として販売し好評を得ておりますが、販路については十分確立されているとは言えない状況であります。
- ・まだらおの湯やもみじ荘などの温泉施設、道の駅ふるさと豊田、そして美しい自然環境などの地域資源は観光資源として有益なものであります。
- ・JR 飯山線の替佐駅と上今井駅の二つの駅は、本市への玄関口となるものであります。

▼ 提 言

- ・地場産業の育成、振興は市の地域経済を強化する上で重要なものであります。りんごや桃、ぶどう、ぼたんこしょうといった農産物と、アップルパイ、おやきや味噌などの農産加工品の消費拡大を図るため、道の駅ふるさと豊田など、既存の販売網での販売促進を図るとともに、広域的な観光振興施策と連携し販路拡大施策を推進されたい。また、同時に温泉施設や自然環境などの

地域資源、そして JR 飯山線の替佐駅と上今井駅を活用し、広域的な観光の振興を図られたい。

- ・地場産品を広く販売していくためには、全国的に認知されるような質の高いブランド商品の開発が必要と考えます。そのための事業者に対しての支援をお願いしますのもであります。
- ・本市にとって農業は基幹産業であり、市の経済基盤を支える重要なものがあります。そのため、農業が継続的に行えるよう、千曲川沿いの無堤地区に築堤整備が必要であると考えます。

○防災体制及び道路網の整備

◆ 現状・課題

- ・千曲川が流れ、周囲を高社山、斑尾山などの山々で囲まれた本市は、自然災害と常に隣り合わせの地形であり、冬の雪害対策や、とりわけ大きな心配として水害の問題があります。
- ・豊田地域と中野地域は千曲川をはさみ東西に分かれる地形となっており、両地域を直接つなぐ道路は上今井橋のみであります。また、部分的に整備されている道路もありますが、全体的な道路整備が遅れていると感じます。

▼ 提言

- ・支所は豊田地域の住民生活の基盤となる施設であると同時に、災害時は重要な役割を担う地域拠点となるものであります。そのため、支所機能の存続を望むものであります。
- ・各区が適切な防災体制を整えられるような行政の指導と地域拠点の整備をお願いしたい。同時に、替佐、上今井、永田地区など水害の心配のある地域に対して、住民が安心して生活できるよう、総合的に判断して整備を図られたい。
- ・市全体の均衡ある発展、そして万が一の災害への対応をするためには、道路網が機能的に整備されている必要があります。一般県道の三水中野線、牟礼永江線、南永江替佐停車場線及び主要地方道飯山妙高高原線の整備、そして、国道 117 号（替佐静間バイパス）及び一般県道豊田中野線（笠倉壁田橋）の開通について早期実現を図られたい。

○自然環境の保全と活用

◆ 現状・課題

- ・高野辰之が作詞した唱歌“故郷”に歌われる自然豊かな原風景は、本市が誇る財産であり、地域住民にとっても心の拠りどころであります。しかしながら近年は、自然環境の破壊につながる危険性もある産廃処理施設の建設計画や、水資源にかかる不明瞭な土地買収なども懸念されております。

▼ 提 言

- ・美しい自然は一度破壊されてしまえば取り戻すことは非常に困難であります。国、県や近隣市町村と連携して、環境汚染や環境破壊につながるおそれのある行為に厳しく対応し、自然環境の保全に努められたい。
- ・緑豊かな故郷の自然を子たちに受け継いでいけるよう、童謡唱歌の里づくりを推進されたい。

○少子高齢化に対する取り組み

◆ 現状・課題

- ・豊田地域には65歳以上の人口が50%以上を占める限界集落もあり、とりわけ農業者の高齢化、後継者不足は大きな問題であります。
- ・少子化により地区の催しに支障がでるなど、地域の賑わいがなくなっていくことが心配されます。
- ・小中学校の再編などは、子どもたちの成長に影響を及ぼす可能性もある。
- ・豊田地域を運行するバスは親川と信州中野駅を結ぶ永田線が1日8往復、豊田地域内のみを運行するふれあいバスが1往復半であり、公共交通機関の利便性が低い。

▼ 提 言

- ・基幹産業である農業の後継者の育成施策を図られたい。
- ・地域の賑わいを創出するためには、若い世代が定住し、子どもを育てていける環境が必要であります。そのためには、積極的なIターン、Uターン施策を行い、人を呼び込む事業を推進されたい。
- ・小中学校の再編の検討は、子どもたちの健やかな成長に配慮し、地域住民の声を聴き、地域住民の意見を尊重し対応していただきたい。
- ・高齢者や免許を持たない人たちの移動手段として、交通機関の利便性の向上を図られたい。

○住民主体の協働による地域振興への取り組み

◆ 現状・課題

- ・豊田地域では区長が中心となり、桜並木の手入れや城址整備、蛍の保護活動など、住民の繋がりを大切にしながら、地域の景観整備と地域づくりを行っています。しかしながら、地区ごとの取り組みが、市全体として広くつながりを見せていないのが実情であります。

▼ 提 言

- ・住民一人ひとりが手間を惜しまず参加して作り上げたものが広がりを持ち、市全体として住民の絆の醸成とまちづくりへつながることで、さらなる地域振興が期待できます。そのために、地区ごとの取り組みが有機的につながり、効果的に市全体に波及するよう、事業推進をお願いするものであります。